

〒830-0011 久留米市旭町67番地 TEL:0942-31-7562 FAX:0942-33-6509 広報E-mail:kurume\_shinzou@kurume-u.ac.jp URL: http://www.kurume-shinzo.com  
企画/久留米大学心臓・血管内科 発行/心臓・血管内科生涯教育講座 2016年7月号

## 心房細動アブレーション治療に新たなバルーン治療が加わりました！

### 心房細動の現状

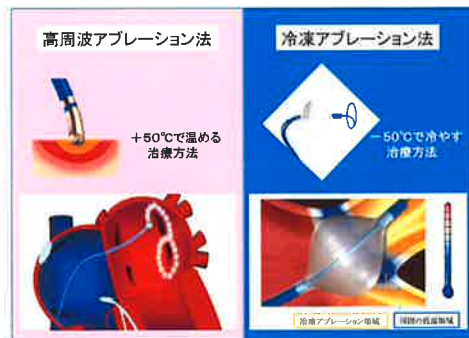
脳梗塞、心不全など様々な病気を生む心房細動、この病気の名前を聞くことが最近多くなってきました。心房細動の有病者数は既に100万人を突破し、25年後には200万人に達するといわれています。有病率は60歳を超えると急峻に増大し、80歳代以降では10%に達する数字となっており、超高齢化社会を迎えた本邦では大きな問題になっております。また、近年は24時間眠らない社会と言われ、睡眠を奪われることで心身ともに負担を抱え30歳未満でも心房細動を発症するケースが増えてきており、心房細動は年齢を問わない病気になってきています。

### 心房細動は早期発見と早期治療が重要

これまでの心房細動治療は、生活習慣の改善と薬剤で抑え込む治療法が主体でしたが、1998年に肺静脈内に伸びた心臓の筋肉線維が心房細動の発症に大きく関与することが報告されて以降、様々な治療手法と機器が開発されました。心房細動を治すために大切なことは、心房細動によって引き起こされる心房筋と心室筋のダメージが少ないうちに治療を行なうことです。そのためには、心房細動を早期に発見し、早期に治療していくことが大切です。

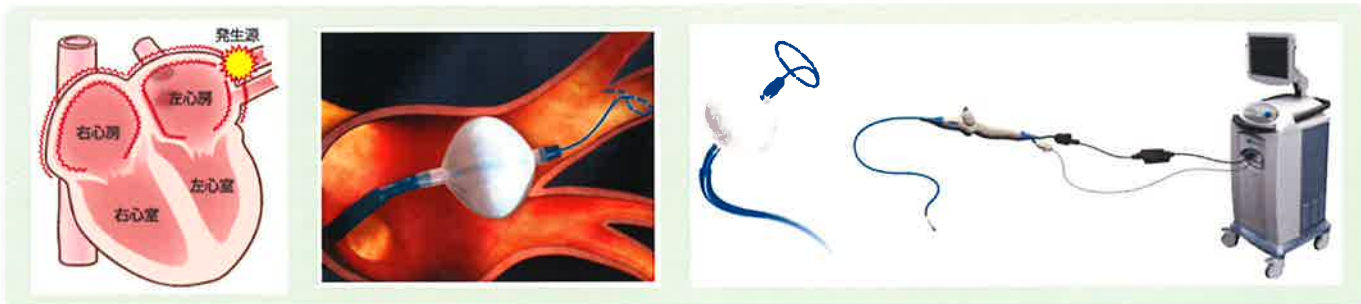
### 心房細動アブレーションとは

心筋焼灼術という名前は20年以上前に直流電法にて焼灼を行っていた時代の名残ですが、現在のアブレーション治療は50℃に温める高周波アブレーション法とマイナス50℃に冷やす冷凍アブレーション法を用いた治療法に変貌しており、高い安全性と治療効果を両立しております。発作性心房細動に対しては、肺静脈を中心とした治療を行い、持続性・慢性心房細動に対しては、3D技術を用いて肺静脈に加えて肺静脈以外の原因の治療も行っております。現在では発作性心房細動は早期発見と早期治療に努めることで90%以上の方が治療後に再発無く経過しております。



### 新しく加わったバルーン治療とは

今回新しく加わったバルーンを用いたアブレーション治療は、クライオアブレーションと呼ばれる冷凍アブレーション法を用いたものです。肺静脈に配置したバルーンをマイナス50℃に冷却することで、心房細動の起源とされる4本の肺静脈と左心房筋の電氣的隔離を行います。治療の特徴は、確実な隔離が短時間で可能になったことであり、治療に於いて患者様の身体的負担が軽減できております。治療予後も高周波アブレーション法と同等の結果が得られております。



### 当院での治療方針について

アブレーションの治療法に関しては各施設間での偏りを無くすことが大切と考えており、全国の不整脈専門医と連携し治療内容の向上に努めることを日々意識しております。アブレーション時の鎮痛には特に気を配っており、痛みを感じない治療法を心掛けております。心房細動は適切な方に早期に治療していくことが大切です。次の事項に当てはまる方は、発作性・持続性問わずアブレーション治療の検討が必要と考えています。

- ① 抗不整脈薬を使用しても心房細動発作を起こす場合
- ② 心房細動時の自覚症状が強い場合、心不全を起こしたことがある場合
- ③ 心房細動を持ち、脳梗塞や一過性脳虚血発作を起こしたことがある場合

不整脈の外來は、月曜日と水曜日に設けておりますが、その他の曜日にも循環器専門スタッフが対応させていただきますので、ご紹介いただける患者様がいらっしゃいましたら、いつでもご連絡ください。

当院：2015年度アブレーション254症例。

TEL 0942-31-7628 (久留米大学病院 循環器病センター)

FAX 0942-31-7706

不整脈担当

大江 征嗣、原口 剛、大淵 綾  
熊楚御堂 淳、上野 聡史